

ごあいさつ

県内中性子利用連絡協議会会長 河口 雅弘
(日本アドバンステクノロジー(株) 代表取締役社長)



日本原子力研究開発機構(JAEA)と高エネルギー加速器研究機構(KEK)が整備をしているJ-PARC(大強度陽子加速器施設)の建設は順調に進捗しており、間もなく待望の中性子利用が開始されようとしております。振り返ってみますと茨城県では、J-PARCプロジェクトを計画当初から評価・支持され、世界に冠たるJ-PARCに茨城県独自のビームライン2本を地元企業のために整備されました。世界でも殆ど例のない素晴らしい地元へのプレゼントだと感激しております。県からのこの贈り物を私たち地元企業が大いに利用・活用し、新製品の開発などにより、それぞれの企業の発展を期することは勿論のこと、さらに茨城県の産業・経済の伸張に繋げ、茨城県を科学技術立県・先進産業県とすることで県の好意に報いたいと考えております。そのためにはどうすればよいか、会員各位に積極的に協議会の研究会や議論に参画していただき、英知を集めて活動し、上述したような目的が達成できるよう願っております。会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

協議会の今後の取り組み

- 中性子利用説明会及び成果報告会等の開催
過去及び今後の中性子利用方法や成果について説明会等を開催します。
- 産学官が連携した共同研究の推進
企業単独の利用だけではなく、産学官が連携した研究等を推進します。
- 個別分野別のワークショップを開催
個々の企業ニーズに合わせたワークショップを開催します。
- 周辺機器情報の提供
J-PARC関連の周辺機器を開発する場合、メールなどで、いち早く情報提供を行います。
- 見学会等の実施
J-PARCや関係施設の見学会を実施します。

会員名簿が完成しました

協議会設立総会(7/28)以降のご賛同により、9月20日時点で合計80社のご参加を戴いております。別紙に会員名簿を添付致しますのでご一覽戴き、横断的な業務推進にご活用戴ければと考えます。

(お願い：個人情報が含まれておりますので 本名簿の取扱いにつきましては、ご留意の程お願い致します)

新製品開発補助金について

茨城県では、平成20年度に引き続き、平成21年度についても「中性子利活用新製品開発補助金」を計画中です。詳細は別途ご案内致しますが、下記概要にて実施見込みですので、奮ってご応募をご検討ください。

- 補助金の概要
県内中小企業者等がJ-PARC施設内の中性子を利活用し、新製品を開発しようとする場合に、その開発に要する経費を補助することにより、中性子利活用による新技術・新製品の開発を支援するものです。
- 要件
 - ・県内における中小企業であること。
 - ・新製品開発にあたっては最低1回以上、中性子を利用する必要があること。
 - ・別途、茨城県等が募集する実験課題の申請を行い採択を受ける必要があります。
- 補助率 対象経費の1/2以内。3百万円を限度。
- 補助期間 最長3年(ただし1年毎の審査)
(その他詳細は、下記相談窓口までお問い合わせください)

***** J-PARCニュース第41号発行 *****
J-PARCニュース第41号が発行されました。URLは下記の通りです。
<http://j-parc.jp/ja/j-news.html>

中性子技術利活用、周辺ビジネス等に関するご相談事項は、下記の窓口を適宜ご利用ください。

■(株)ひたちなかテクノセンター・企業支援部
企業訪問マネージャ 神田、満仲
(TEL: 029-264-2200)

■県商工労働部産業政策課
産学連携推進室 鈴木、小堀
(TEL: 029-301-3522)

■県商工労働部産業技術課
東海カイ入 児玉
(TEL: 029-284-3948)



利活用相談/情報提供窓口



補助金など県施策全般



技術相談全般

各種ご相談は...